

2025年9月9日

2025年度 第1回美容科教育課程編成委員会議事録

1. 開会日時 2025年9月9日(火) 13:00-14:30
2. 開催場所 埼玉県理容美容専門学校 2F 実習室 E
3. 出席者 8名

|   | 氏名     | 所属                          |
|---|--------|-----------------------------|
| 1 | 岡本 春雄  | 埼玉県美容業生活衛生同業組合 川口支部長        |
| 2 | 古川 聡   | 埼玉県美容業生活衛生同業組合 浦和支部長常任理事    |
| 3 | 柏木 恵   | 埼玉県美容業生活衛生同業組合 蕨支部長         |
| 4 | 佐々木 直美 | 埼玉県美容業生活衛生同業組合 越谷支部・会計理事    |
| 5 | 増村 信雄  | 埼玉県理容美容専門学校 校長              |
| 6 | 千住 義祐  | 埼玉県理容美容専門学校 学校本部長           |
| 7 | 原田 怜   | 埼玉県理容美容専門学校 教務課長            |
| 8 | 橋本 有美  | 埼玉県理容美容専門学校 美容科教員・教育課程編成委員長 |

臨席 埼玉県美容業生活衛生同業組合理事長 高野 春夫

4. 学校長 開会挨拶 (増村校長)  
高野理事長 挨拶
5. 2025年度第1回・教育課程編成委員会の目的 (司会・千住課長)

【教育課程編成委員 目標の確認】

司会は資料の確認を行い、職業実践専門課程の教育課程編成委員会の目的と役割について説明しました。また委員が更新されたので自己紹介を行いました。

6. 要約

会議は専門学校の現状報告と学生の教育・生活に関する議論が行われました。担当より、現状報告が行われ在籍状況と学生委員会の活動報告、教育課程委員会からは、前期学科試験の結果及びインターンシップや母校訪問、卒業生講話などの実施状況も報告されました。会議では、現代の学生のコミュニケーション能力や学習姿勢について活発な議論が行われました。

## 7. 現況報告

原田課長から在籍状況について、全体で222名の学生が在籍しており、1年生では4名が休学、1名が退学、2年生では1名が休学、1名の退学が報告されました。退学理由には友人関係のトラブルや精神的ストレス、バンド活動への傾倒などがありました。

## 8. 学生委員会

学生委員会からは、7月16日に開催された学生技術大会の関東大会への参加、9月23日の浦和祭りへの参加予定、韓国の高校生のインターンシップ受け入れ、10月25日の感謝祭の予定などが報告されました。また、学生の生活指導として、通学マナーの指導や喫煙問題への対応が行われていることも報告されました。

## 9. 教育課程編成委員会の報告

教育課程編成委員会の橋本委員長からは、前期試験の結果、検定の実施状況、インターンシップと実務実習の状況、母校訪問の実施状況などが報告されました。特に前期学科試験では、1年生の合格率が58.9%、2年生の合格率が62.6%であったことが報告されました。また、実技試験では1年生の不合格率が38.5%、2年生の不合格率が44.4%であったことも報告されました。

## 10. 国家試験結果と在校生の状況報告

橋本委員長より美容科の報告があり、前年度の国家試験結果（実技100%、学科98%の合格率）や現在の2年生と1年生の状況が報告されました。2年生は実技が苦手な学生が多く、夏休み中に補習を行ったこと、1年生は平均的な技術レベルであることなどが報告されました

## 11. 学生のコミュニケーション能力に関する議論

前回の委員会で議題となった、学生と大人とのコミュニケーションギャップについて、今年度の取り組みが報告されました。教員をシャッフルしてホームルームを担当させる試みや、卒業生講話の講師を学生に近い年代の人物を選出して実施したことが報告されました。その後、委員から現代の若者のコミュニケーション特性について意見が出されました。オンラインでのコミュニケーションには慣れているが対面が苦手な傾向があること、興味分野には積極的な態度で臨むが興味のないことには取り組む姿勢が希薄になる傾向が顕著であることなどが指摘されました。

### (1) サロン経営者からの意見と提案

サロン経営者から、学生に求めるのは基本的なコミュニケーション能力や指導を素

直に受け入れる姿勢であるという意見が出されました。また、学校で学ぶ基礎技術の重要性や、興味のある分野を伸ばすことの大切さについても意見が出されました。また、国家試験の課題が現場で直接使われなくても、その過程で身につける技術や考え方が重要であるという意見がありました。

(2) 学生のコミュニケーション能力向上のための具体的提案

学生のコミュニケーション能力向上のための具体的な取り組みについて議論されました。「明るく元気に爽やかに」挨拶や返事ができること、指導を素直に受け入れる姿勢、ポジティブワードを使うことなどが重要であるという意見が出されました。具体的な取り組みとしては、ロールプレイングを通じてこれらのスキルを体験的に学ばせることが提案されました。

12. 今後の行動項目

- ① 学生のコミュニケーション能力向上のためにロールプレイングを実施する。特に「明るく元気に爽やかに」挨拶や返事ができるよう、ポジティブワードを使う訓練を行う。
- ② 10月25日に感謝祭を開催する。この機会に地域の方や保護者を招いて模擬サロンを中心とした活動を行う。
- ③ 9月23日の浦和祭りに1年生が参加する。日本文化の授業の一環として、着付けの授業を活かした活動を行う。
- ④ 2年生の国家試験対策として、学生をランク分けし、技術の底上げを図る。後期に実技試験を3回、模擬学科試験を2回実施する。1年生のワインディング技術向上のため、タイム強化を行う。
- ⑤ 3月の校内協議会に向けて、ランク分けして指導を行う

13. 閉会

増村校長より挨拶があり

司会の千住部長より次回の教育課程編成委員会を2026年2月24日に開催する事を確認して閉会となった。

以上